



●慌てずにハリスをつかんで抜き上げよう



▲「初めてこんな大きいアジが釣れました」と満面の笑顔を見せてくれた

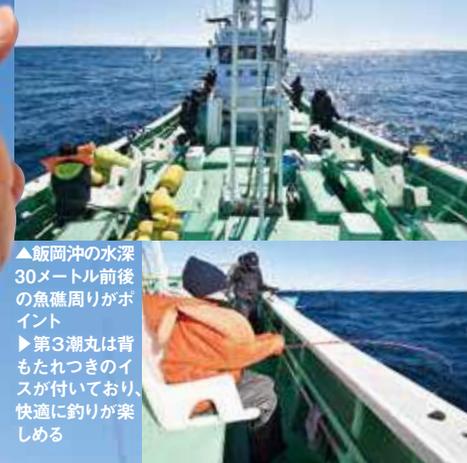


▲船釣り初挑戦の女の子にもハナダイがヒット



▲25センチ前後でもよく引いて楽しい

★飯岡沖のハナダイ五目は初心者や家族連れでも気軽に楽しめる



▲飯岡沖の水深30メートル前後の魚礁周りがポイント
▶第3潮丸は背もたれつきのイスが付いており、快適に釣りが楽しめる



▲カワハギとハナダイの一荷も

▶軟調子のゲームロッドで狙うとヤリトリが楽しい



▲取り込みは抜き上げてOK

▶体高のあるよく肥えたハナダイが多かった
▲大きいオスのハナダイは大きくなるとこの周りが張り出すようになる



◀当日は海底から水深20メートル付近まで濃い反応が見られた

仕掛けとコマセ

★ハナダイ釣りではコマセの出し過ぎに要注意。コマセカゴは下窓を全閉、上窓を3分の1に調整しておこう。コマセのアミエビはカゴいっぱい詰めて、6~7分目程度で十分だ。



▲同宿では魚皮バケの3本バリ仕掛けを販売している



▲コマセカゴはFL60号を使用する



▲塩焼きやタイ飯にすると非常に美味
◀ハナダイの一荷もよく見られた



▲ウマヅラはハナダイ五目の定番ゲスト
◀イカタンを付けたカラバリ仕掛けて狙っていた常連さんにシヨゴ(カンパチの若魚)がヒット



★一枚掛かったらリールをゆっくり巻き上げて追い食い狙おう

飯岡沖のハナダイ五目が好調だ。アミコマセを使ったシャクリ釣りでハナダイのほかにはマダイやアジ、ウマヅラ、メバルといったゲストも多彩に釣れている。
釣り場は飯岡沖の水深30メートル付近に点在する魚礁周辺で、タナは海面から11~25メートル前後。本命のハナダイは一人20枚、いい日はトップが規定数の50枚に達することも珍しくない。釣れるハナダイは25~35センチ級が多いが、3月以降は40センチ級の大型も交じるようになり、強烈な引きを堪能できるはず。アタリも多く船釣り入門にも最適なハナダイ五目はこの春おすすすめだ。(詳細は48ページ参照)



●九十九里飯岡港・第3潮丸 潮田 公成船長

アタリも魚種も多彩で豊富 春のイチオシハナダイ五目

撮影◎本誌編集部